

【学校教育目標】

- 1 自発的学習態度を育成する
- 2 健全な心身の発達を目指す
- 3 知性を高め敬愛の精神を高める
- 4 創造力を養い個性の伸長に努める
- 5 誠意をもって責任を果たす態度を養う

【校長の教育方針】

- 1 基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てる
- 2 自己の学力の向上に努める生徒を育てる
- 3 教科の勉強以外に打ち込めるものを見つけ、取り組む生徒を育てる
- 4 「思いやりの心」と「感謝の気持ち」を持つ生徒を育てる
- 5 本校独自の「チャレンジ講座」や「人間学」を通して未知なるものへの興味を広げ、豊かな感性を育む生徒を育てる

【現状と課題】

- 1 素直で人懐こいが、集団生活に悩む生徒がいる。
- 2 挨拶や返事が苦手な生徒がやや多い。
- 3 細部まで気を配り、行き届いた清掃ができる生徒はそれほど多くはない。
- 4 身だしなみや清潔感に気を配る意識が不十分な生徒がいる。

【重点目標】

- 1 基本的な生活習慣を身につける
- 2 掃除の徹底
- 3 元気な挨拶
- 4 コミュニケーション能力の向上

【評価項目】 「遅刻をしない(P.2)」「さわやかな身だしなみ(P.3)」「安心・安全な学校生活(P.4)」「きれいな校舎(P.5)」「元気な挨拶(P.6)」

【評価構成員】 PTA（全保護者）、教職員（講師・事務員含む）、生徒

【評価実施日】 2月10日～2月18日

【評価回答数】 PTA 90人／125人
教職員 14人／19人
1年生 39人／40人
2年生 42人／41人 ※若干の不正確性を含む
3年生 44人／44人

【評価基準】 A ほぼ達成 80%以上
B 概ね達成 60%以上
C やや不十分 40%以上
D 不十分 40%未満

重点目標

I 基本的な生活習慣を身につける

評価項目

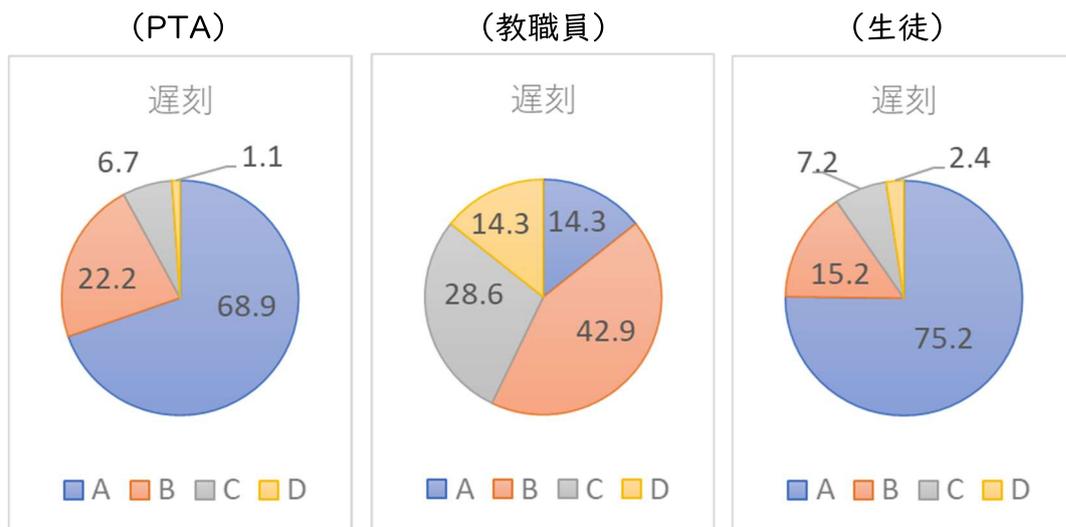
遅刻をしない

具体的方策

時間遵守の大切さを根気強く説明し、理解を促していく。具体的にとるべき行動を提示し、遅刻の未然防止に努める。遅刻をする生徒に関しては家庭と連絡を取り合い、対処法を面談等で話し合う。授業の前後で後片付けや次の時間の準備を徹底するよう指導する。休み時間の巡回等を必要に応じて行う。

達成度

A



次年度改善策

時間遵守の大切さを根気強く説明し、理解を促していく。遅刻を繰り返す生徒に関しては改善シートに記入させ、遅刻の繰り返し防止に努める。また、保護者と電話連絡や面談を行い、協力を仰ぐ。授業の前後で後片付けや次の時間の準備を徹底するよう指導する。休み時間の巡回等を必要に応じて行う。持病などの事情を抱えている生徒に関しては情報共有をし、誤った指導がなされないようにする。

重点目標

I 基本的な生活習慣を身につける

評価項目

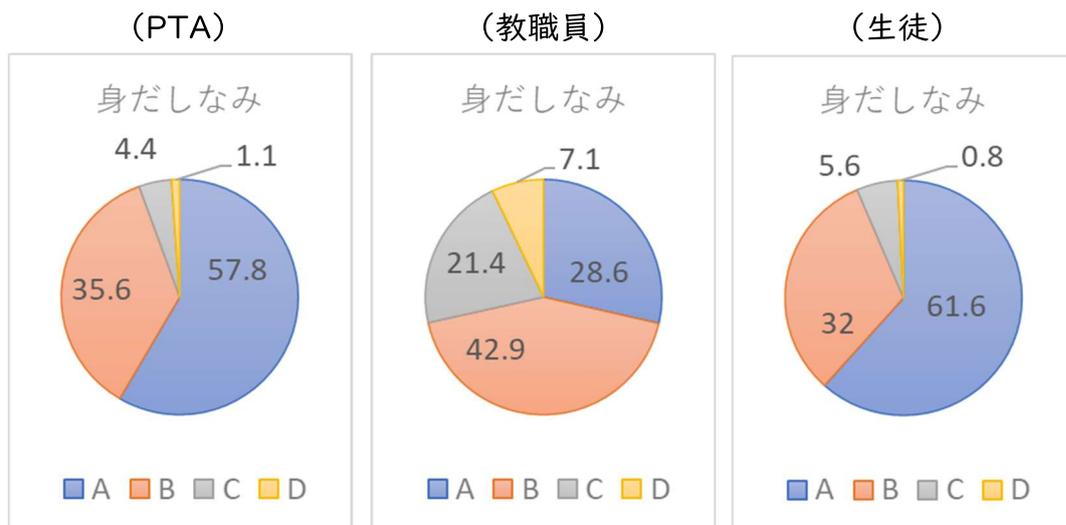
さわやかな身だしなみ

具体的方策

毎日、朝・帰りのHRや授業前に服装点検を行う。見た目や清潔感に気を配る意識を持たせ、指導が必要な生徒には本人や保護者と話し合い理解を得ながら改善していく。家を出る前の点検を家庭にもお願いする。進路指導や保健指導、家庭科の授業も活用し身だしなみを整える意味の理解を深めていく。

達成度

A



次年度改善策

毎日、朝・帰りのHRや授業前に服装点検を行う。また、必要に応じて全校朝礼などでも行う。身だしなみが整っていない生徒はその場で直させる。見た目や清潔感に気を配る意識を持たせ、指導が必要な生徒には本人や保護者と話し合い理解を得ながら改善していく。家を出る前の点検を家庭にもお願いする。進路指導や保健指導、家庭科の授業も活用し身だしなみを整える意味の理解を深めていく。

重点目標

I 基本的な生活習慣を身につける

評価項目

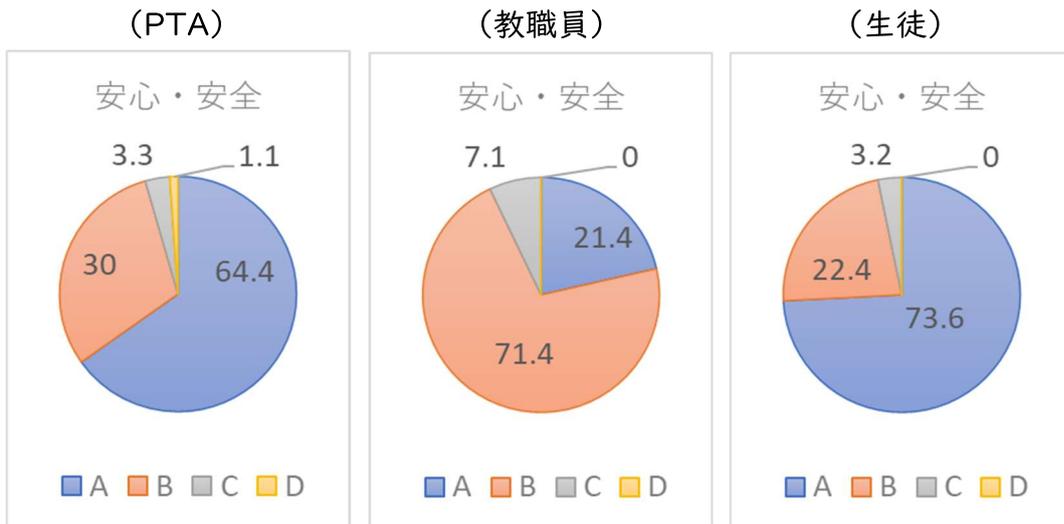
安心・安全な学校生活

具体的方策

全教員・スクールカウンセラー（SC）間で生徒の情報を共有し、組織的支援体制をつくり、話し合う場を設けて即応する。本人や家庭とコミュニケーションをとりながら生徒の特性・事情に応じて指導する。生徒が相談しやすい環境にするため、いじめアンケートや観察シートを活用する。必要に応じてチームティーチング等を行う。

達成度

A



次年度改善策

職員間で生徒の情報を共有し、組織的支援体制をつくり、話し合う場を設けて即応する。学年会議に限らず教員同士がその日のうちに情報共有するよう心掛ける。本人や家庭とコミュニケーションをとりながら生徒の特性・事情に応じて指導する。生徒が相談しやすい環境にするため、定期個人面談や特別支援相談員・いじめアンケート・生徒観察シートを活用する。授業では必要に応じてチームティーチング等を行う。

重点目標

2 掃除の徹底

評価項目

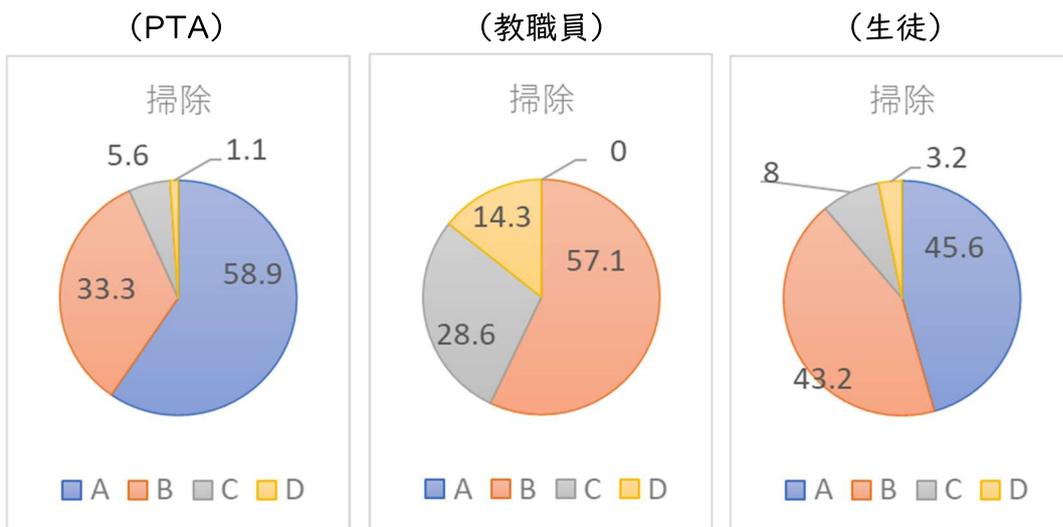
きれいな校舎

具体的方策

担当教員が細部まで行き届いた清掃の手本を示しながら指導する。委員会を活用し掃除の仕方等の説明を工夫して行う。使う人の気持ちを考え丁寧な掃除を習慣化する。時間を意識し時間内に終わらせる。責任・協働・奉仕・忍耐の心を育てる。クリーンアップ作戦を確実にを行い地域への奉仕意識を高める。

達成度

B



次年度改善策

委員会を活用し掃除の仕方・用具のチェックリストを作成する。点検項目に沿って掃除をし、担当教員がチェックをする。細部まで行き届いた清掃の手本を教員自身が一緒に掃除をするなどして示す。使う人の気持ちを考え、気付いた人や汚した本人がきれいにすることを習慣化する。時間にも意識し、責任・協働・奉仕・忍耐の心を育てる。クリーンアップ活動を確実にを行い地域への奉仕の意識を高める。

重点目標

- 3 元氣な挨拶
- 4 コミュニケーション能力の向上

評価項目

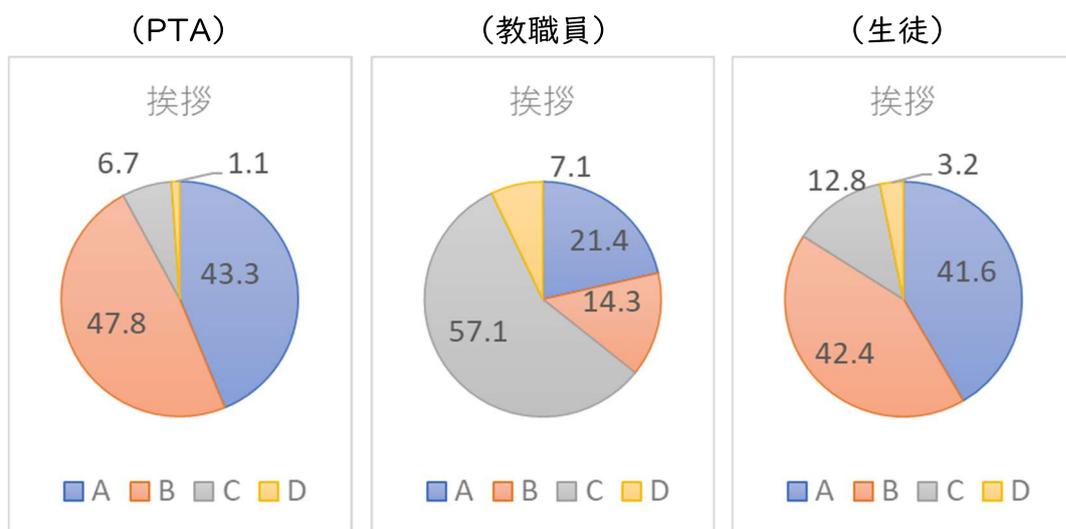
元氣な挨拶

具体的方策

挨拶の意味、大切さを再確認し、生徒・教職員が一緒になって笑顔で元気に爽やかに、心を込めた挨拶ができるよう取り組んでいく。HRや授業、集会、職員室の出入り等の場面でお辞儀等の作法も含めて指導し、進路を意識した生活を心がける。お客様来校の際はさらに積極的に挨拶する。

達成度

B



次年度改善策

生徒・教職員が一緒になって笑顔で元気に爽やかに、挨拶ができるよう取り組んでいく。自ら声を出し、場面に応じて会釈も活用できるようにする。HRや授業、集会、職員室の出入り等の場面での指導を徹底する。委員会を活用し生徒同士で改善活動を行ったり、面談で個別指導したりする。進路を意識した生活を心がけ、生徒・職員以外の方が来校した際はさらに積極的に挨拶する。